

寄付募集の背景 ～その1～

上尾裕昭（同窓会長／20期）

2015年の130周年事業が高山龍五郎会長(当時)のリーダーシップのもとで無事に終了したことにより、2016年の春の同窓会の役員会は安堵感に包まれていました。しかし、その会の終盤に「記念館の劣化に伴い外壁が落下して、生徒に危険が生じています。」という高校からの報告を受けて、平穏な雰囲気は一変しました。事務長の状況説明を聞きながら質疑応答を重ねた結果、その日は「これから執行部で検討してみましょう。」という方針となりました。

この記念館は体育館の奥にあり（資料1）、90周年事業として昭和50年（1975年）に同窓会が建設して高校に寄贈したものです。年代的に推測しますと28期以降の人達が高校時代に使用して来たこととなります。その後は平成22年（2010年）に県に寄付され、その際に「管理・補修は同窓会が行う」と約束がなされていました。

20期（昭和43年卒業）の私の頃には無かったので、当時の様子を30期代の同窓生に聞いてみますと「音楽部をはじめとした部活の合宿に・・・」「学校行事の際に・・・」と当時から幅広く活用されていたようです。現在も、在校生の部活（邦楽部、吹奏楽部、茶道部、将棋部、生物部、サッカー部、男子バスケット部など）や生徒会、保護者会の会議で使用頻度が高いことが判りました（資料2）。私達、同窓会員も度々ここで会合を開いています。この時点で「この記念館の機能がなくなったら困る。」「同窓会が補修計画を立てなければならない。」ということが明らかになりました。

記念館には過去一度も補修工事の手が加えられていないとのことですので、劣化状況が気になり専門家に建物診断をしてもらったところ、「補修をすれば20年～25年は使用可能」「耐震診断にも県に寄付する際に合格」ということが判りました。私達は「40年前の執行部の先輩方は立派な建物を造ってくださったんだな」と感じました。

これらの検討の過程で、記念館の空調設備の悪臭と2階の広間の畳の劣化で生徒が困っていることを高校からの要望で知りました。また、私達が現地を視察した際に、トイレが男女兼用で日本式便座のままであることが判り、これらの刷新の必要性も浮上しました。

次は経費の問題です。業者に見積もりをしてもらったところ外壁工事だけで約2,000万円、新築すると1億円が必要と判り、同時に「同窓会には資金はない」とのことですので、当然の流れとして改修案が選択され、「寄付を集めなければ」という展開となりました。

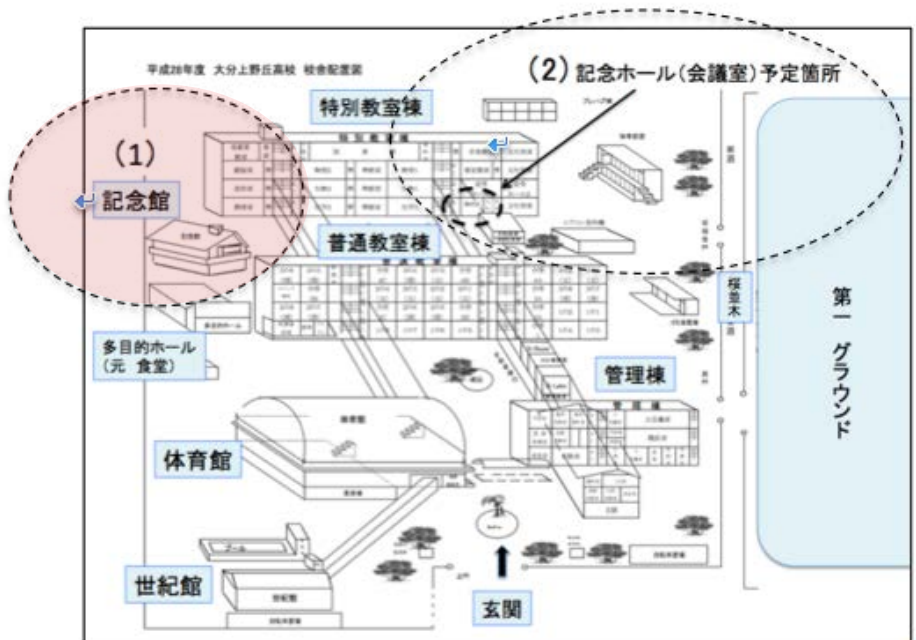
この時点で「同窓生のためにも役立つものとして、記念館にアーカイブ・ルームを作ろう」という声が上がりました。

(次回に続きます)

【資料 1】



記念館



【資料 2】

記念館使用状況 (2016.7.4)			
団体	目的	場所	使用日等
邦楽部	部活動	2F 和室	毎週、月金
吹奏楽部	部活動	1F 会議室	毎週、火水金土日
茶道部	文化祭お茶会	1F 会議室 2F 和室	文化祭前数日間 文化祭当日
将棋部	大会	1F 会議室 2F 和室	年3回の土日2日間 (5月・12月・1月)
生物部 OB会	OB会	1F 会議室	毎年1月2日
男子 バスケットボール部	学習	1F 会議室	不定期
サッカー部	保護者会	1F 会議室	年6回
サッカー部	協会研修会	1F 会議室	年4回
サッカー部	合宿	全館	年3回
生徒会	リーダー研修会	1F 会議室	10月中旬の土曜の午後

○改修時の要望：クーラー稼働時に悪臭がするので、改善してもらいたい。